

☆視 点

世界の繊維需要、5年連続で拡大…2013年

米国のFiber Organon誌が2013年の世界の繊維需要と化繊生産を発表した。同誌によると、繊維需要は前年比4.3%増、化繊生産は同5.7%増と5年連続で増加しており、世界的にみた繊維市場は、依然、拡大が続いている。

1. 2013年の世界の繊維需要

2013年の世界の繊維需要は前年比4.3%増の8,904万トと5年連続で増加した。このうち化繊が5.7%増の6,377万ト、天然繊維が1.0%増の25,270トといずれも増加した。

化繊の内訳はセルロース繊維が12.0%増の480万トと4年連続で2桁増となったほか、合繊(オレフィン繊維除く)が5.4%増の5,396万ト、オレフィン繊維が3.0%増の501万トといずれも増加した。

一方、天然繊維は綿(コットン)は1.2%増の2,377万トと増加したものの、羊毛は4.0%減の112万トと減少に転じた。

表1. 世界の繊維需要

(1000ト、%)

品種	2011	2012	2013	前年比
セルロース	3,641	4,281	4,801	12.0
合繊(オレフィン除く)	47,344	51,139	53,964	5.4
オレフィン	4,717	4,855	5,007	3.0
化繊計	55,702	60,275	63,772	5.7
綿	23,921	23,462	23,766	1.2
羊毛	1,117	1,166	1,121	-4.0
絹	132	132	138	4.4
天然繊維計	25,397	25,003	25,270	1.0
総計	81,100	85,278	89,042	4.3

(出所) Fiber Organon、以下同様

(注)化繊は生産、その他は消費統計に基づく

## 2. 地域別合繊生産

世界の合繊(オレフィン繊維を除く)生産量について、国・地域別で見ると中国は前年比7.0%増の3,685万トと増加し、世界全体に占めるシェアは前年の67.3%から68.3%と1.0ポイント拡大した。中国に次ぐ生産国のインドは3.7%増の374万ト。シェアは6.9%で、世界全体に占める両国シェアの合計は75.2%と4分の3に達した。

アジアではASEANが7.0%増、バングラデシュやパキスタンを含む「その他アジア」が15.7%増と、いわゆるアジア新興国での生産が増加した一方、日本(2.2%減)、韓国(3.5%減)、台湾(0.6%減)といった国々の減産傾向が続いている。

欧米では、西欧とトルコを加えた地域が2.6%減、東欧・CISが3.5%減と欧州全体が減少したのに対し、米州は、米国がポリエステルFの好調により4.7%増、その他米州も2.8%増と増加した。

表2. 世界の地域別合繊生産

国・地域	2011	2012	2013	前年比	同増減	構成比
日本	642	609	596	-2.2	-13	1.1
中国	30,729	34,432	36,846	7.0	2,414	68.3
韓国	1,616	1,620	1,563	-3.5	-57	2.9
台湾	2,077	1,966	1,954	-0.6	-13	3.6
ASEAN	2,658	2,698	2,888	7.0	190	5.4
インド	3,494	3,605	3,737	3.7	133	6.9
その他アジア	659	665	769	15.7	104	1.4
西欧+トルコ	1,982	1,929	1,878	-2.6	-51	3.5
東欧・CIS	495	486	469	-3.5	-17	0.9
米国	1,819	1,898	1,987	4.7	89	3.7
その他米州	769	777	799	2.8	22	1.5
中東・アフリカ・オセアニア	404	438	479	9.4	41	0.9
世界計	47,344	51,139	53,964	5.5	2,825	100.0
中国以外の計	16,615	16,707	17,118	2.5	411	31.7

(注)オレフィンを含まない

## 3. 品種別合繊生産

オレフィンを含む合繊生産は5.2%増の5,897万トとなった。主要品種はいずれも増加し、ナイロンFが6.7%増の417万ト、ポリエステルFが7.4%増の3,131万トと長繊維が好調であった。一方、短繊維はポリエステルSが1.8%増、またアクリルSは0.3%増とほぼ横ばいとなった。

オレフィン系は長繊維が3.0%増の435万ト、短繊維が3.2%増の66万トと、いずれも3%前後の増加となった。

表3. 世界の品種別合繊生産

(1000ト、%)				
品種	2011	2012	2013	前年比
アクリル	1,990	1,948	1,956	0.3
ナイロンF	3,706	3,907	4,173	6.7
ナイロンS	169	166	168	0.6
ポリエステルF	26,376	29,126	31,313	7.4
ポリエステルS	14,220	15,086	15,370	1.8
オレフィンF	4,089	4,218	4,349	3.0
オレフィンS	628	637	658	3.2
その他	884	906	984	8.5
総計	52,061	55,994	58,971	5.2

#### 4. セルロース繊維生産

セルロース繊維の生産は前年比12.2%増の480.1万トと4年連続で2桁増となった。国・地域別では、中国が18.0%増の246万トと前年に引き続き2割近く増加したほか、インドが13.9%増、インドネシアが13.0%増、また比較的規模は小さいながら台湾が20.9%となった。

品種別では、衣料・家庭用に使用される普通レーヨンF(キュプラを含む)が8.0%減の28.7万トと大幅に減少したものの、タイヤコードなどで使用される強力レーヨンFは2.7%増の6.2万トと増加した。またレーヨンSは14.1%増の440万ト、大幅増が継続している。

表4. 世界のセルロース繊維生産

(1000ト、%)							
国・地域	2012	2013	前年比	品種	2012	2013	前年比
日本	61	61	-0.2	強力レーヨンF	60	62	2.7
中国	2,666	3,145	18.0	普通レーヨンF	312	287	-8.0
インド	392	446	13.9	アセテートF	49	50	1.6
インドネシア	437	494	13.0	レーヨンS	3,860	4,403	14.1
台湾	98	119	20.9	計	4,281	4,801	12.2
タイ	150	80	-46.7	(注)リヨセル繊維を含まない。 世界のリヨセル繊維の生産能力は年産17.5万ト。 (推定、2014年3月時点)			
西欧	406	402	-1.1				
東欧・CIS	23	18	-24.4				
米国	25	26	4.3				
その他米国	22	10	-54.9				
世界計	4,281	4,801	12.2				

## 5. オレフィン繊維生産

オレフィン繊維の生産は前年比 3.1%増の 501 万ト<sub>n</sub>。西欧(0.4%減)と米国(1.1%減)が減少したが、その他の国・地域は増加した。

品種別ではフィラメントが 0.8%増、ステープルが 3.3%増、スリット・フィルムファイバーは 4.7%増といずれも増加した。

表5. 世界のオレフィン繊維生産

(1000ト<sub>n</sub>、%)

国・地域	2012	2013	前年比	品種	2012	2013	前年比
西欧	563	561	-0.4	フィラメント	1,710	1,724	0.8
トルコ	611	634	3.8	ステープル	637	658	3.3
米国	552	546	-1.1	スリット・フィルム	2,508	2,625	4.7
日本	177	191	7.9	計	4,855	5,007	3.1
中国	870	938	7.8				
その他アジア	881	912	3.5				
中東・アフリカ・オセアニア	529	551	4.2				
その他	672	674	0.3				
世界計	4,855	5,007	3.1				

(担当:業務調査グループ 戸円)